

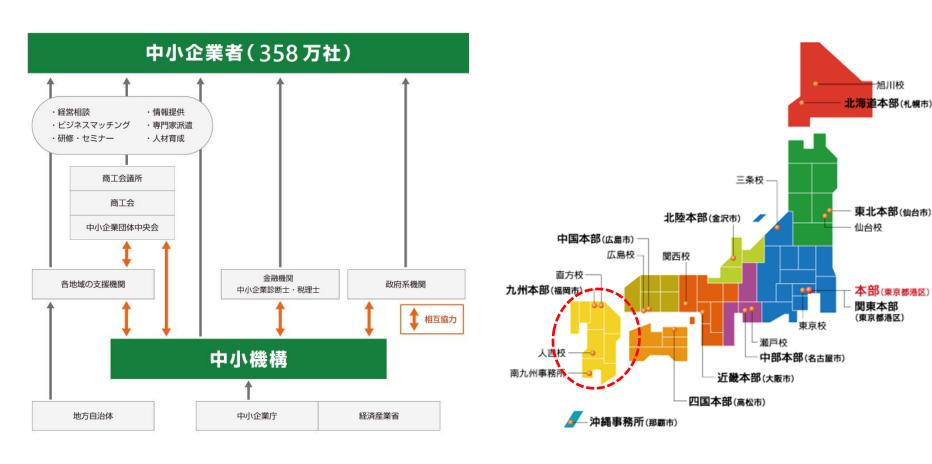
~IT経営簡易診断のご紹介~

無料で!人間ドックのように、IT経営をチェック・見える化

独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部 企業支援課

中小機構の概要

中小機構は経済産業省所管の独立行政法人で**国の中小企業政策の中核的な実施機関**です。 地域の支援機関・金融機関等と連携しながら中小企業の成長をサポートしています。



- ○全国9か所に地域本部を設置
- ○全国ネットワークを活かして高度・広域な支援を実施
- ○全国約3500名の専門家や中小企業支援に精通した職員等の人的資源を活用

中小機構の支援メニュー

中小機構九州本部では、起業・創業期から成長期、成熟期に至るまで、

企業の成長ステージに合わせた幅広い支援メニューを提供しています。

起業·創業期 新事業展開

インキュベーション施設

インキュベーションマネージャーによる経営相談、 産学官金連携等もサポート

TIP * S/BusiNest

新しいアイデアを磨く方や創業者・創業期の企業のためのビジネス拠点

起業相談AIチャットボット

起業準備者・関心者を対象にAIが起業の質問等に回答

成長期

専門家の派遣

さまざまな経営課題を解決するための専門家を派遣

J -GoodTech

優れたものづくり企業と大企業、海外企業等と のマッチング

販路開拓・eコマース

展示会や商談会等にICTを組み合わせた販路支援等

海外展開支援

海外展開検討段階から、事業計画作成、海外進出まで、様々なメニューにより支援

成熟期

事業承継・事業引継ぎ

中小企業事業引継ぎ支援全国本部として 後継者不在企業の事業引継ぎをサポート

事業再生

中小企業再生支援全国本部として中小企業 の再生をサポート

共通

共済制度

質の高いセーフティネットの提供

人材育成

中小企業大学校や各種セミナーを通して人材育成をサポー

資金支援

高度化資金、ファンド、債務保証 による資金支援

経営相談等

経営の相談に各分野の経験 豊富な専門家が対応

情報提供

アプリ等の紹介、経営に役立つイベント や助成金情報等を J - Net21等で発 信

中小機構のIT支援施策

イフト・ ITプラットフォーム https://ittools.smrj.go.jp/itpf/

経営課題の整理~ITツール導入まで、一気通貫でご支援します!

問題が山積みだ



[例えばこんな時]

- ・業務に関する書類の管理が大変。
- リアルタイムでデータが見れない。
- ・もっと効率化したい。

自己診断

IT戦略ナビ

5分で見える化! IT戦略マップを作成

問題を明確化しよう



[例えばこんな時]

- 問題や対策を具体化したい。 ·IT化の効果を診断してみたい。
- 誰かに相談したい。

相談•課題整理

E-SODAN

いつでもどこでも 経営相談無料チャット

IT経営簡易診断

専門家に経営課題を相談 専門家よりIT化のご提案

問題解決に向けて



[例えばこんな時]

- どのツールを導入するか調べたい。
- ・IT化に関する情報を収集したい。
- 専門家と一緒に進めたい。

課題解決ツール選定

ここからアプリ

目的・業種毎にアプリを検索 導入事例や動画も公開中

IT導入に取り組む



導入

IT導入補助金

ITツールの導入に 補助金を活用!

デジタル化応援隊

専門家による **|丁導入計画・導入サポート!|**



人間ドックのように自社のIT経営をチェック&見える化 自社の目的・状況に合ったIT化へのきっかけ作り



IT経営簡易診断について

1. IT経営簡易診断とは

IT経営簡易診断は、

- ・専門家との3回の面談を通して、
- ・経営課題・業務課題を全体最適の視点から整理・見える化し、
- ・貴社に合ったIT活用可能性(ソフト、アプリ等)をご提案する 無料の支援制度です。



1. IT経営簡易診断とは

対象

- ・自社のIT活用可能性を知りたい中小企業
- ・IT導入で生産性向上を目指したい中小企業
- ・特に、以下の業務に課題があり、改善を検討したい
 - ①フロント業務(顧客対応・営業支援業務)
 - ②バックオフィス業務(総務・会計・人事、労務、在庫、物流等の間接業務)

メリット

- ・自社の経営戦略・課題とIT活用の可能性を構造的に理解できる
- ・実現手段(ITソリューション)についての情報提供を受けることで、具体的にIT実装に向けた検討ができるようになる

2. 診断のポイント①「業務機能体系図」

【a.業務機能 体系図】(ITの活用状況と今後の強化事項)

業務の現状と 課題を把握

連携先 ↔ **要容 ①顧客対応・販売支援** 外国人対応 ホームページ関連 7 業務 マーケディング、コミュニケーション管理、関合せ管理、営業行動支援、 商談管理(提案、見續、契約、受注) 予約管理(施設・設備・偏品予約)、受付(チェックイン、チェックアウト、 セルフチェックイン) • 顧客管理(基本情報、宿泊履歴、アンケート管理) ④人材配置

ミドル業務

⑨業務固有プロセス(実行系)

献立作成、管理

⑩業務固有プロセス (支援系)

施設管理(風呂温度、入浴者数、電力量 自動監視、清掃管理、鍵管理

②決済・債権債務・資金回収管理

- 決済(カード・電子マネー・ボイント・QR・ $A(t - \Box + B_0)$
- フロント会社・その物会計連動(ルームサービス、 冷凝度、水イTV)
- 発注、仕入、管局、支払管理(食材、酒類飲料。 他)、華書管理
- POSレジ会社、売上・情求・売滑・回収管理。 保育管理 (原稿計算)

③会計・財務・資産・経営管理

- 予算統制、経営計画立案、予算原価策定 財務会計、税務申告

 ω_{j}

7

穃

⑥総務・人事・給与・労務・ITインフラ

- 人事、労務(動怠申請・承認、労務管理) 給与、福利厚生、人事系法令手続 社内資産管理(辞具、偏品、
- ファシリティ、OA、IT資産等) セキュリティ

シフト組み

⑥調達・供給在庫・物流

- 仕入先・委託先管理 在庫管理(リネン、食材、酒類飲料) 宿泊プラン策定・部屋残管理

⑦自動化・分析プロセス

分析機能(BI), データ連携・自動処理(RPA), 自動情報収集(IoT)

⑧汎用プロセス

文書証憑管理、ワークフロー、グループウエア、社内SNS、 ビジネスチャットツール

 \leftrightarrow

業種・業務が限定されないソフトウェア

★印は今後の取組みに繋がる事項。

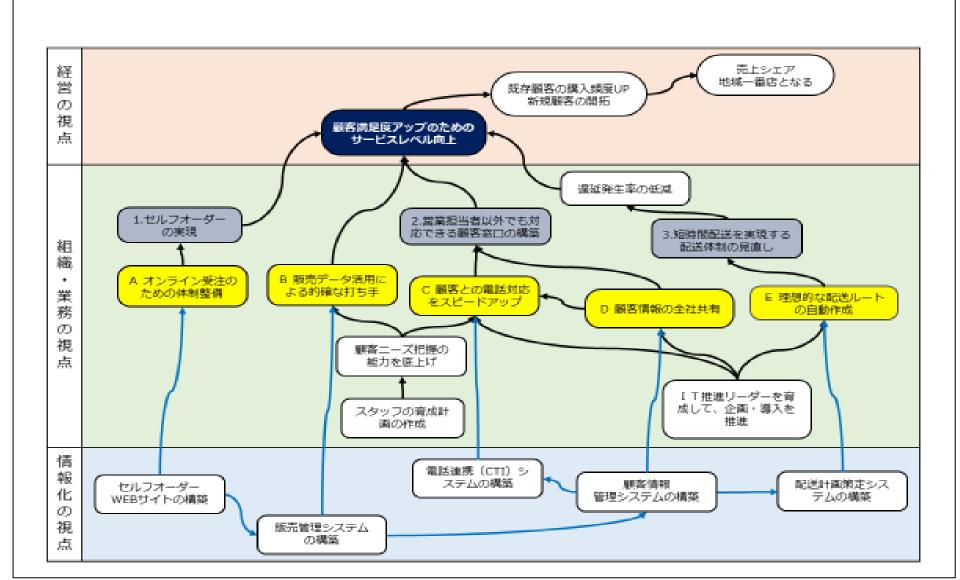
仕入先 協 力企業

2. 診断のポイント②「IT戦略マップ」

経営課題・業務課題 の解決に向けた IT戦略を提案

サンプル

3回目 ディスカッションシート【IT戦略マップ】



2. 診断のポイント③「業務課題とIT利用の計画概要」

ITツール導入の 優先順位、 ステップを提案

サンプル

3回目 ディスカッションシート【業務課題とIT利活用の計画概要】

経営課題	業務課題	IT利活用テーマ	1年目 前期	1年目 後期	2年目 前期	2年目 後期
既存顧客の購入頻度UP 新規顧客の開 拓	セルフオーダーの実現	セルフオーダーWEBサイト(クラウ ドサービス)の導入	準備	顧客テスト	本格導入	
顧客満足度 アップのため のサービスレ ベル向上	営業担当者以外でも対 応できる顧客窓口の構 築	販売管理システムの構築 顧客情報管理システムの構築 電話連携(CTI)システムの構築	選定	準備	構築	横築
顧客満足度 アップのため のサービスレ ベル向上	短時間配送を実現する 配送体制の見直し	配送計画策定システムの構築				選定

2. 診断のポイント④「付帯資料」

自社に合ったITツールの機能や 導入コスト等の情報提供

サンプル

【e.付帯資料】

【F】勤務管理システムの導入

製品名運営会社			【e.付帯資料】 ④勤怠管理に役立つアプリケーション機能例 – Jinjerの場合 –
製品URL	L		Jinjerが提供する出退社の時刻を打刻する機能、給与システムに活用できるレポートの例を示します
特徴機能	勤務管理	スマート 店舗WE	従業員PC画面 197 2017年12月4日が 日本、月次ステラュール、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、
		ICカート ID+PW 指紋認証 POS打刻	7/57スます。 コカシウェール 18年 フォック・ロール 17 ファイル からも打刻できる 27 3.44年第 17 3.2 2 3.47年第2月6日 17 3.47年第2月
	他システム連携 対応機器	データエ PC(ブラ タブレッ スマホ(スマホ)	
価格(単	位:円)	課金体系初期	10 10 10 10 10 10 10 10
		最低月額(1年間費用保考	サフラロート 引能 正社員 電野系 質野 医 ガンイマト PF電楽器 123 3 12 39:65 2 0 3 39:66 0 0 0 1 1 4 0 0 0 0 0 1 1 4 0 0 0 0 0 0
			- 休日出勤 - 1 正社員 総理 協規程

3. 支援事例のご紹介

事例①ウィズ・コロナの新しい働き方に向けた環境整備

【1】企業の課題(申込のきつかけ)

- ◆社長をはじめ、社員の高齢化でIT化に対応できておらず、 どのようなITツールがあるのか、何から始めてよいのかわからない。
- ◆セキュリティ対策に不安がある。
- ◆コロナ禍に対応するための業務改革として、クラウドを活用した情報の一元化、オンライン営業に取り組みたい。

【2】診断・提案の概要

- ①Web会議システムの提案
- ②WebDB(グループウェア)の提案
- ③セキュリティアクション取得に向けたアドバイス
- ④ITサポートサービス、相談窓口の紹介





【提案例】



個々のキーワードの理解も 半ばあきらめていましたが、 全体像を示していただいたことで、やるべきことや優先順 位がみえてきました。

事例②IT化でさらなる顧客獲得

【1】企業の課題(申込のきつかけ)

- ◆どこをIT化すると効率化できるのかわからない。
- ◆顧客管理を有効に販売につなげたい。

【2】診断・提案の概要

- ①webカメラによる自販機在庫の遠隔管理
- ②QRコードを活用した会員登録
- ③スケジュールアプリを使った従業員管理



【例:QRコードを活用した会員登録】



今後も継続的に顧客に向けた情報発信を行い、高価格・高付加価値商品の販売にシフトしていきたいと思います。大変役立つ内容でした、ありがとうございました。

4. IT経営簡易診断の注意事項

(注意事項)

- ■本事業では、ミドルオフィス業務である生産管理や物流管理等の基幹システムに関する提案は行いません。
- ■本事業では、IT活用に関する提案、情報提供です。 導入に関する支援は含まれません。
- ■本事業には経営者(決定権を有する方)の同席が必須となります。

5. お申込み方法



お申込みはWebで!

https://krs.bz/smrj-hp/m?f=885

IT経営簡易診断





※申込フォーム入力項目

企業名、連絡先、紹介者、アドバイス希望日、業務課題の詳細、 IT利活用上の問題点、IT活用の状況などIT利活用上の問題点など

~皆様のお申込みをお待ちしております~

第 Ⅱ 期 中小企業デジタル化応援隊事業について





1. 制度の仕組み

デジタル化応援隊事業は謝金補助事業です。

IT専門家が実施する中小企業へのデジタル化支援について、相談費用の一部を謝金として国が補助

- ・1 案件あたり 謝金: ~3,500円/時 (中小企業は500円以上/時 の自己負担が条件)
- ・1 企業あたり 計30万円まで (第 I 期、第 II 期累計)
- ・1専門家あたり 計150万円まで (第Ⅰ期、第Ⅱ期累計)

例:事前調査(6H) > ツール選定(6H) > 導入/運用支援(8H) ⇒ 合計支援時間:20H

中小企業等の負担額例(※価格は全て税込価格です)



IT専門家への依頼単価

¥3,000/h

se2

¥5,000/h

制度未活用時の負担額

 $\pm 3,000 \times 20h$ = $\pm 60,000$

 $\pm 5,000 \times 20h$ = ± 100.000

制度活用時の負担額

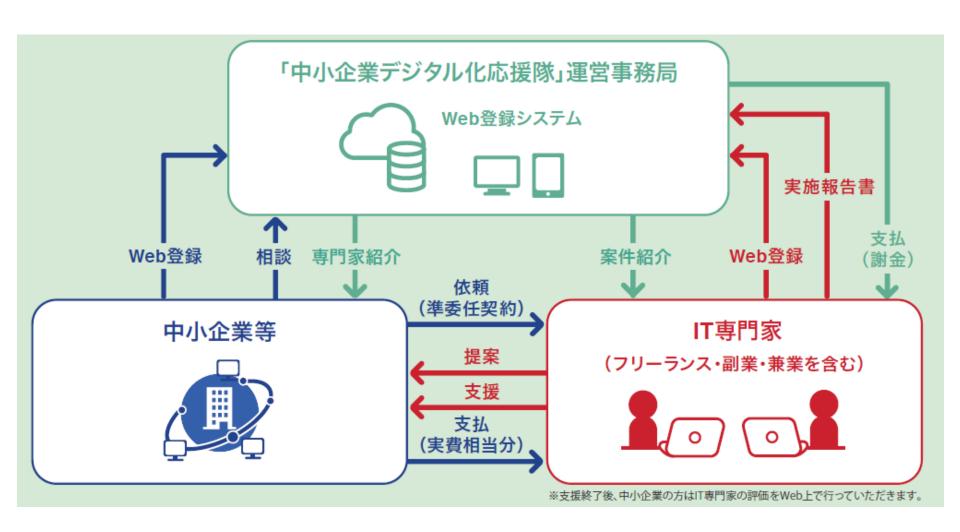
 $\pm 500 \times 20h$ = $\pm 10,000$

 $($5,000-$3,500) \times 20h$ =\$30,000

※1時間あたりの謝金額については、3,500円が上限。支援単価については双方合意の上、自由に設定し、3,500円を上回る分については、中小企業等が実費として支払う。また支援単価が3,500円を下回る場合は、1時間あたり最低500円の中小企業等による実費負担が必要。

2. 事業の流れ

活用にあたってはまずはWeb登録が必要です(※新規登録期限9/30まで)

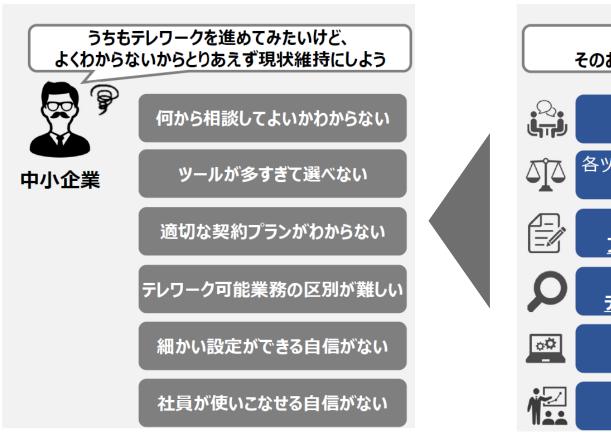


テレワーク導入やHP・ECサイト構築、クラウドサービスの活用など、 様々なテーマで支援を受けることができます。

	デジタル支援領域	説明
\ <mark>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</mark>	テレワーク導入	場所や時間を選ばずWeb会議や社内LANへの接続ができる環境を整備することで生産性の向上はもとより、通勤時間の短縮、育児家事との両立により従業員満足度向上が 期待できる。
2	オンライン会議導入	映像と音声に加え資料を共有しながら遠隔で会議を実施することで、対面での会議と差異なく移動時間の削減などの効果が見込め、効率的な業務運営が可能となり生産性の向上 が期待できる。
2 3	マーケティング	顧客セグメンテーションに応じたマーケティング施策を、ITによって分析・可視化・自動化・効率化していく。顧客管理ができるマーケティングツール導入、自動化するMAツール導入、 オンラインイベントツール導入、デジタルマーケティングツール、メール配信ツール導入などが含まれる。
4	EC構築	仮想店舗をインターネット上に作ることで、人件費や賃貸料等をかけずに販路開拓、売上増加を期待できる。
5	決済·請求	インターネットバンキングツール導入、キャッシュレス対応、見積り・請求・入金管理ツール導入など、決済や請求に関わる業務の自動化をすることで、ミスの防止や効率化が期待できる。
6	分析・自動化(AIなど)	AI導入、RPA導入、チャットボットツール導入などを通して、人が行っていた業務プロセスを可能な限り自動化することで生産性向上を見込むことができる。また、組織内の様々な申請を電子化し、承認・回覧の効率化を期待するワークフローツール導入なども含まれる。
7	クラウドサービス	インターネットを通じてサービスを必要な時に必要な分だけ利用することで、初期投資を押さえてIT化を図ることができる。SaaS導入、オンラインストレージツールなどが挙げられる。
8	顧客·取引先管理	営業活動の管理に加えナレッジ共有や営業分析を効率的に行えるSFAツールの導入をはじめ、顧客の各活動で情報を管理できる予約管理ツール・名刺管理ツール・販売管理ツール 導入、チャットボットなどを活用したWeb接客ツール導入など。
9	人材管理·HR	人材の採用・育成・評価・タレントマネジメントを効率化するツール導入や、労務・勤怠の管理ツール導入をはじめとし、研修コンテンツをe-learningを活用してデジタル化したり、社員情報を一元管理できるツールを導入したり、HR領域をデジタル化によって効率化する。
10	会計管理	帳簿や決算書のデータ作成や取引先の債権・債務を管理できる会計管理ツール、従業員の給与や経費精算のシステム化ができるツールの導入、企業の予算を実績の進捗をリアルタ イムに見える化できる予実管理ツール導入などが挙げられる。
11	ペーパーレス・電子契約	ペーパーレス推進ツール導入や、インターネット上で電子ファイルに押印・署名をして契約できるようにする電子契約ツール導入などを活用して、効率化を期待する。
12	情報管理·共有	社内外のコミュニケーションを通して得られた様々な情報の管理と共有を行う。イベント管理ツール、コミュニティ管理ツール、ナレッジ管理ツール、社内SNS導入、グループウェア導入などが含まれる。
13	セキュリティ	現在のシステムの脆弱性を調査し、原因の特定と対応策の検討・実施により事業継続力の向上が期待できる。
14	インフラ構築	様々なITツールを活用するための土台となる環境を構築する。IP電話ツール導入、通信環境の整備、IoTツール導入、サーバーツール導入などがあげられ、事業の下支えになる。
1 1 5	ホームページ構築	最新の情報公開を行うことで自社ブランディングや販促へつなげる効果が期待できる。
16	ERPなど	ヒト・モノ・カネ・情報を一元管理できる総合基幹システムを指すERPをはじめ、クラウドファンディング導入、システム・アプリ開発管理ツール導入、ソフトウェアツール導入、マニュアル作成 ツール導入など。
17	その他	上記以外にも、企業活動を進める上で生産性こうじょうや効率化を図るためのデジタル化。ただし、コンテンツ作成分野のいわゆるメルマガ作成、校正、デザイン・イラスト作成、映像制作、作曲等はデジタル化支援の定義に含まない。

4. 事例

テレワーク導入における具体的な支援例





<u>その他テーマにおいても幅広い課題への対応が可能!</u>

5.ご利用の流れ

ご利用は簡単4ステップ!

step1 登録

HP上の登録システムに申 請情報を入力し、登録。

※入力目安時間は5分程です。

※登録後、事務局の審査が完 了しましたら、専用マイページ が発行されるので、マイページ



step2 契約

企業が登録した相談案件をIT専門家が探し、支援計画(案)を提案。

中小企業等/IT専門家 双方にて支援計画の合 意のうえ、事務局確認を 経て契約締結。

※既に面識がある/契約しているIT専門家との契約も可能。



step3 支援

支援計画に沿ってIT専門家がハンズオンで支援。

支援終了後は、IT専門家 にて支援報告書を事務局 に提出。



step4 支払

IT専門家から受領した 請求書の内容を確認の 上、補助額を差し引いた 実費負担額を、IT専門 家に支払い。





IT専門家へ 支払い

【各種期限】

●本事業への新規登録受付: 2021年9月30日(木)

●支援に係る契約締結期限: 2021年11月30日(火)

●支援終了 及び 支援実施報告期限(※専門家): 2021年12月17日(金)

◆IT経営簡易診断に関するお問い合わせ先◆

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部 企業支援部企業支援課

〒812-0038 福岡市博多区祇園町 4 - 2 サムティ博多祇園BLDG.2F

電話:092-263-0300

◆デジタル化応援隊事業に関するお問い合わせ先◆

第Ⅱ期 中小企業デジタル化応援隊事業事務局

TEL: 03-6833-2525

平日9時~17時